

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズリオン プラン		
○保護者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 11
○従業員評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月20日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	朝夕のミーティングを行っていること。	朝のミーティングでは今日の予定や連絡事項を共有している。夕のミーティングでは一日の振り返りを行っている。活動当番が活動内容の振り返りをし、他職員が良かった点や改善点を話し合っている。	全職員が積極的に発言していけるような環境にしていく。長期休暇など朝のミーティングの時間を取ることが難しい時の対応を話し合って決めていく。
2	活動内容を5領域(健康・生活・運動・感覚・認知・行動、言語・コミュニケーション、震源関係・社会性)に当てはめて計画していること。	活動内容が固定しないように予定を立てたり、時間をおいて同じ活動を試してみるなど考えながら計画を立てている。	5領域のどの領域で、どういう目的をもって活動を行うのかをもっと明確に話し合っていく。
3	アセスメントに基づき、子どもや保護者の意向や、特性を反映させた個別支援計画を作成していること。	全職員がいつでも個別支援計画が確認できるように支援記録に挟んである。また計画に沿った記録を残していること。	計画に沿った活動や勉強をさらに取り入れていく。全職員が計画を意識して日々支援していく。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の増加、利用者の成長による活動スペースの狭小化、個別指導や面談ができる部屋がないこと。	部屋数が少ない。収納がなく物をしまえない。	定期的に整理整頓をする。少人数ずつで活動を行ったり、別の場所を借りるなど工夫していく。
2	建物が2階にあり災害時の避難の安全確保が不十分であること。	事業所が2階にあること。	避難訓練は年数回実施し、階段での避難の練習はしているが、ビル全体では行っていない為、実際の避難時にどうように避難できるのか不明。ビル全体での避難訓練の実施を年1回実施できるという。
3	長い研修時間を確保することが難しいこと。	記録作業や準備などに時間がかかっていること。	効率よく記録や準備の作業ができる仕組みづくり。